

平成 23 年 1 月 13 日

「北九州水素タウン」運用開始式を開催します！
～水素エネルギーモデルタウンの構築を目指す社会実証試験～

水素供給・利用技術研究組合（理事長：吉田正寛）は、経済産業省の「水素利用社会システム構築実証事業」のひとつである「水素タウンプロジェクト」の事業者として、福岡県、北九州市と協力し、水素エネルギーモデルタウンの構築を目指した社会実証試験（「北九州水素タウン」プロジェクト）の運用を1月15日より開始します。

この市街地を経由するパイプラインによる水素供給と一般家庭・商業施設・公共施設という本格的なコミュニティ規模での純水素型燃料電池の運転実証をおこなう、世界的にも例のないモデル都市「北九州水素タウン」の運用開始を記念して、下記の通り式典を開催する運びとなりましたので、お知らせいたします。

1. 記念式典

- (1) 日時：平成 23 年 1 月 15 日（土曜日）13 時～13 時 30 分 ※雨天決行
- (2) 場所：いのちのたび博物館（北九州市八幡東区東田 2-4-1）
- (3) 主催：水素供給・利用技術研究組合、
福岡水素エネルギー戦略会議（福岡県）、北九州市
協力：岩谷産業株式会社、西部ガス株式会社、JX 日鉱日石エネルギー株式会社
- (4) 内容：主催者・ご来賓挨拶、除幕式など
- (5) 主な出席者：
経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部
新エネルギー対策課 燃料電池推進室長 飯田 健太（いいだけんた）
水素供給・利用技術研究組合 理事長 吉田 正寛（よしだまさひろ）、
福岡県知事 麻生 渡（あそうわたる）、
北九州市長 北橋健治（きたはしけんじ）

2. 施設見学会

- (1) 日時：平成 23 年 1 月 15 日（土曜日）13 時 30 分～15 時 ※雨天決行
- (2) 場所：燃料電池設置場所（いのちのたび博物館屋外、エコハウス、集合住宅等）
- (3) 内容：施設・小型移動体概要説明、等

3. 備考

お車をご利用の場合は、警備員の誘導にしたがって、いのちのたび博物館駐車場に駐車してください。

◆水素供給・利用技術研究組合（HySUT）

参加企業各社が、それぞれ保有している水素の供給・利用に関する技術やノウハウを結集し、水素供給ビジネスの事業化に向けた供給安定性、経済合理性、環境適合性等の検証を行うための技術研究組合です。

【組合概要】

1. 理事長 吉田 正寛
(JX 日鉱日石エネルギー(株)執行役員 研究開発本部研究開発企画部長)
2. 所在地 東京都港区赤坂二丁目 10 番 5 号
3. 設立日 平成 21 年 7 月 31 日
4. 事業内容 社会実証を通じた水素供給ビジネスの検証
5. 参加企業 JX 日鉱日石エネルギー株式会社、出光興産株式会社、岩谷産業株式会社、大阪ガス株式会社、川崎重工業株式会社、コスモ石油株式会社、西部ガス株式会社、昭和シェル石油株式会社、大陽日酸株式会社、東京ガス株式会社、東邦ガス株式会社、日本エア・リキード株式会社、三菱化工機株式会社

※技術研究組合とは

産業技術に関する試験研究を共同して行うことを目的に、技術研究組合法（昭和 36 年 5 月 6 日法律第 81 号）に基づいて設立される法人です。組合に参加する企業等の同志的結合の組織であり、試験研究を共同で行い、その成果を組合員が享受し合うことで組合員の共同利益を追求するという性格を有しています。

◆「北九州水素タウン」プロジェクト

福岡県等が進める『福岡水素戦略（Hy-Life プロジェクト）』の一環として平成 21 年 9 月に設置された「北九州水素ステーション」（福岡県北九州市八幡東区東田）から、近隣の集合住宅・戸建住宅や公共施設までパイプラインを敷設して付臭された水素を供給し、家庭用・業務用の純水素型燃料電池の運転実証試験や、純水素型燃料電池と太陽光発電や蓄電池との連携運転による電力供給システムの検証を行います。

また、同ステーションに業務用純水素型燃料電池と蓄電池を設置し、非常用電源としての運転実証を行うほか、近隣のホームセンターに水素低圧充填設備を配置し、燃料電池フォークリフトなどに用いられる水素カートリッジへの水素充填実証も行います。

今回、パイプラインの先に設置する純水素型燃料電池は、文字通り水素のみを原料とするので、利用サイトで全く二酸化炭素を排出しない、究極の燃料電池と言えます。水素供給・利用技術研究組合では今回の社会実証試験を通じて、水素の効率的な輸送手段と水素供給ビジネスモデルの検証を行ってまいります。

【実証試験の概要】

実証試験項目	概要
水素パイプラインによる水素供給技術の実証	西部ガス株式会社へ建設・運用を委託。 水素ステーション内に設置した付臭設備で付臭した水素を供給し、24 時間体制の監視のもと、安定・安全供給に関する運用面での課題抽出を行う。
純水素型燃料電池の運転実証	岩谷産業株式会社へ設置・運用を委託。 1KW 級、100KW 級純水素型燃料電池を複数台設置し、水素利用システムとして評価を行うとともに、計量システム、脱臭装置、遠隔集中管理システム等の周辺技術の検証を行う。
家庭用純水素型燃料電池、太陽光発電、蓄電池の連携実証	JX 日鉱日石エネルギー株式会社へ設置・運用を委託。 設置箇所の電力負荷バランスに合わせた効率的・安定的な電力供給システムの検証を行うとともに、停電時を想定した電力系統から自立した電力・熱源供給を検証する。
業務用純水素型燃料電池、蓄電池の連携実証	JX 日鉱日石エネルギー株式会社へ設置・運用を委託。 停電時の水素ディスペンサー制御用のエアコンプレッサーへの電力供給の運転実証を行う。
水素低圧充填機の運転実証	岩谷産業株式会社へ設置を委託。 水素低圧充填設備を設置し、燃料電池リフター・燃料電池アシスト自転車等の小型移動体に用いられる水素カートリッジへの水素充填実証を行う。

◆北九州水素ステーション

福岡県・福岡水素エネルギー戦略会議が進める「福岡水素戦略（Hy-Life プロジェクト）」の社会実証「水素ハイウェイ」構築のために建設された水素ステーションのひとつ。平成 21 年 9 月にオープン。

岩谷産業株式会社（主として設備建設を担当）、新日本製鐵株式会社（八幡製鉄所から副生水素ガスを供給）、JX 日鉱日石エネルギー株式会社（主として運転管理を担当）の 3 社との共同事業。

【水素タウン イメージ】



以上